



# 九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」 No.216

2013(平成25)年 6月 6日(木)発行



ヴァイツゼッカー

●あきれんばかりの歴史認識のない安倍晋三総理や政治家諸氏へ、この言葉をどうぞ！『過去を克服することが問題なのではありません。克服するなど決してできるわけではありません。過去はもちろん、後になって変更したり、起こらなかつたとすることはできるものではないのです。しかし、いやしくも過去に対して目をとぎす者は、結局は現在に対しても盲目となります。』ヴァイツゼッカー(1920～ 政治家 元西ドイツ大統領 1985年5月8日、ドイツ敗戦40周年の連邦議会での格調高い名演説の一部)

## <震災や原発事故を詠む①> 3.11東日本大震災・原発事故・私の体験 28

「春の夜ノアの方舟のごと避難バス」(高野美子さん)  
○震災や原発事故を詠んだ俳句を、今号は①として原町区の八牧美喜子先生主宰の『はらまち』から作品を紹介させていただきます。次号では②として石川文字先生主宰の『冬薔薇』の作品を紹介させていただきます。○いずれの作品も、思いの深い秀作と高く評価されています。

### 八牧美喜子先生主宰『はらまち』より

震災後とびとび書きの古日記	八牧美喜子
震災のことにはふれず賀状書く	
柩なき津波の葬儀春寒し	
山凍る一灯もなき避難道	佐藤喜代子
瓦礫浮く漁港に透けて海月群る	高橋正彦
避難地を終の地と決め盆供買ふ	宝玉トシ子
あの山の陰にふる里流れ星	紺野英子
蕎麦種の支援のとどく賢治の忌	高橋喜代
今年山の落葉使わず堆肥積む	佐藤定一
三月十一日の日捲り暦そのままに	大川栄子
この土地も汚染疑う年の果て	吉永 広
春雨の虹ふるさとの山つなぎけり	官林千枝子
春寒や「逃げろ」とテレビ叫びをり	那須優則
春の田の瓦礫を除く自衛隊	沼田希代
春の夜ノアの方舟のごと避難バス	高野美子
一時帰宅冬蜘蛛の巣をそのままに	大川末子
朝顔や仮設棟みな繋がれり	松野あや子
木枯に区間短かき列車着く	小沼静子
原発の反対署名寒に入る	藤田利子
柚子風呂に余す日数を指折りて	長谷川則子
柚子の香や母の手帳に料理メモ	木下洋子
柚子たわわ汚染地域はそのままに	草野和子

虎落(もがり)笛忘れたきこと思ひ出す	藤田春美
津波跡に残りし蔵や秋の風	山田栄子
罹災墓に夏海の紺しまりけり	石橋林石
ボランテイヤてふ人今日も暖かし	山崎秀夫
津波禍の骨壺並ぶ花の寺	金丸孝子
校庭に放射線量機桜咲く	松下セツ子
避難より戻りしともへ鶯餅	大槻英子
鎮魂の黙禱三月震災日	大滝甲子郎
淡雪や津波禍飯の遷宮祭	持館美津恵
御仕法堀被災に濁り椿落つ	大杉恵子
帰村への会議の帰路の朧かな	高宮義治
攫はれしものは返らず夏怒涛	木幡テイ
東京また帰宅難民台風来	宮本憲子
寒鴉地震の港にいて鳴かず	加勢辰龍
原発禍我が人生の秋思かな	香取千昭
息災なりや野馬追の土も馬も	瀬下嘉夫
浜供養唱える僧に春の雨	山崎勝男
避難車の数珠つなぎなる春の闇	甲田雅子
他県警の赤色灯のあたたかし	
原発禍に子の帰省なし餅を焼く	

俳句部門 奨励賞を受賞されています。(甲田さんは、昨年度、福島県文学賞)



## 《会へのお便り》

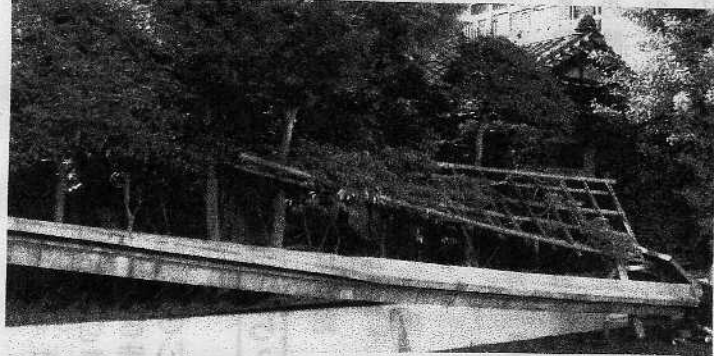
福島県九条の会代表 吉原泰助様(福島市)より

「会報を送っていただき、ありがとうございます。何時も 原町や南相馬地区の九条運動には敬服しておりますが、この度の5月3日の新聞折り込みには感服しました。東北の交流会でも言及し報告します。」

## 「鈴木安蔵旧宅復興基金」の設立を！

子どもの本・九条の会代表 丘修三様(相模原市)より

「昨年11月、山崎さんに南相馬を案内して頂いた時、見学した小高区の鈴木安蔵先生の旧宅は地震で塀が倒れ、レポートの写真を見る度に、何とかしたいものだと思います。如何でしょう、『鈴木安蔵旧宅復興基金』を呼びかけてみたら。問題が山積みしていて、それどころではないという雰囲気でしょうか。とすれば、時期をみて市と協力して復興できたらいいなと思っています。協力を惜しみません。」



▲南相馬市小高区、はやし薬局裏手の鈴木安蔵(現憲法の原案起草の憲法学者)の生家。地震で塀が崩れたままになっていて、大変心痛む光景です。(2013年6月2日撮影)

## 《事務局より》

◆会報No.212の1面「若松丈太郎さんの核発電・核災」の文章部分が、印刷機の関係で数行がかわり印刷されたものもあり、お詫び申し上げます。鮮明なものを郵送しますので、ご連絡ください。

◆5月3日の憲法記念日、南相馬市の新聞朝刊に〈別紙〉の「憲法改訂反対のチラシ」を折り込みました。2008年5月3日に次いで2回目です。

◆本会会計がちょっと逼迫してきました。年会費千円を、今年10月頃までに事務局会計が事務局員にご納入ください。また郵便為替払込の場合は、口座記号02260-1、口座番号は89911、加入者名「はらまち九条の会」です。

## 《「はらまち九条の会」事務局連絡先》

○会長：平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326  
○事務局長：山崎健一(神奈川県に避難中) TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com  
○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892  
○番場恵子 TEL0244-22-0715 ○ホームページ担当：大浦祥見 TE0244-24-0704

## 絵本の紹介

「えほん 日本国憲法」  
明石書店 絵文野村まり子  
¥1600+税  
絵本ですが、憲法の条文解説もあり、大人もじっくり楽しめます。



## 「けいかいいき ぶたまるさんがいく」

文 マオアキラ 絵 さかもとひろかず  
創風社出版 ¥1143+税

原発事故で警戒区域に置き去りにされた動物たちを救おうと、ぶたまるさんは立ち上がります…



▲横浜の皆さんは、浪江町や南相馬市の被災地を見学し、復興が進んでいないことに驚いていました。

6月2日、横浜市旭区若葉台九条の会の18名が被災状況視察のため南相馬市を訪問されました。錦町の九条の会看板の前で事務局員と交流〈写真〉。浪江町請戸で事故の第一原発を遠望し海岸線を北上。小高区では鈴木安蔵生家を見学。松川浦「かんのや」に宿泊。翌日は二本松市の仮設住宅を訪ね、被災者と懇談しました。

